

40年の記録



菰野町消防本部は、昭和 60 年の発足から 40 年を迎えました。
これまでの出来事を振り返ります。

菰野消防のあゆみ

明治27年（1894）

消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。

昭和3年（1928）

町制施行により菰野村が菰野町となる。

昭和14年（1939）

警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。

昭和23年（1948）

消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。

昭和30年（1955）

4. 町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。

昭和31年（1956）

9. 菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。

昭和32年（1957）

1. 菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数159名）に統一され菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。

昭和41年（1966）

7. 湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。

昭和43年（1968）

1. 菰野町役場に本部班が設置される。

昭和58年（1983）

4. 本部班が本部分団となり、全7分団となる。
7. 三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
- 9.30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年（1984）

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
- 7.19 消防庁舎建設工事着工
- 8.24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
- 10.21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年（1985）

- 1.31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
- 2.14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両 5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年（1986）

- 3.25 ポンプ車（CD-I型）購入
- 11.19 普通貨物自動車（4WD）購入

昭和62年（1987）

- 2. 26 はしご車（30m級）購入
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入

昭和63年（1988）

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年（1989）

- 1. 24 救急車（2B型）購入
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年（1990）

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 10. 12 全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。

平成4年（1992）

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年（1993）

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始
- 10. 6 菰野町の婦人消防隊が全国婦人消防操法大会に出場する。

平成6年（1994）

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 10. 13 全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

平成7年（1995）

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水-ⅠA型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年（1996）

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年（1997）

- 2. 14 第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生
- 8. 8 三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

平成10年（1998）

- 2. 4 ポンプ車（CD-I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務の運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車（4WD）購入

平成11年（1999）

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年（2000）

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年（2001）

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用開始

平成14年（2002）

- 4. 1 消防職員服制改正

平成15年（2003）

- 8. 27 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成16年（2004）

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣（3年間）
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施

平成17年（2005）

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年（2006）

- 2. 22 高規格救急車購入
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 7. 22 三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。

平成19年（2007）

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水-IA型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年（2008）

- 3. 14 救助工作車購入
- 3～9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 指揮車購入

平成21年（2009）

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣（3年間）
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成

平成22年（2010）

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年（2011）

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結

平成24年（2012）

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣（3年間）
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年（2013）

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年（2014）

- 3. 24 はしご車（30m級）購入
- 11. 8 全国消防操法大会に朝上分団が出席し、敢闘賞を獲得する。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入

平成27年（2015）

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業所認定制度開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年（2016）

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣（3年間）
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年（2017）

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年（2018）

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年（2019）

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年（2020）

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年（2021）

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年（2022）

- 1. 11 水槽付ポンプ車（Ⅱ型）購入
- 3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和5年（2023）

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣（3年間）

令和6年（2024）

- 3. 8 高規格救急車購入
- 7. 21 三重県消防操法大会に千種分団が出場し、3位入賞する。
- 8. 1 救急情報伝送システム運用開始

歴代消防長

初代 大倉 二郎	自 昭和60年 4月 1日	至 昭和61年 3月31日
二代 田邊 正男	自 昭和61年 4月 1日	至 平成 3年 3月31日
三代 藤田 徹	自 平成 3年 4月 1日	至 平成 7年 3月31日
四代 石原 俊秀	自 平成 7年 4月 1日	至 平成11年 3月31日
五代 内田 芳隆	自 平成11年 4月 1日	至 平成13年 3月31日
六代 金津 正義	自 平成13年 4月 1日	至 平成16年 3月31日
七代 秦 隆	自 平成16年 4月 1日	至 平成18年 4月27日
八代 増田 幸生	自 平成18年 5月 1日	至 平成19年 3月31日
九代 川嶋 正典	自 平成19年 4月 1日	至 平成21年 3月31日
十代 内田 眞伸	自 平成21年 4月 1日	至 平成25年 3月31日
十一代 白木 康裕	自 平成25年 4月 1日	至 平成30年 3月31日
十二代 吉川 澄	自 平成30年 4月 1日	至 令和 3年 3月31日
十三代 山本 正春	自 令和 3年 4月 1日	至 令和 7年 3月31日
十四代 瀧見 浩志	自 令和 7年 4月 1日	現在に至る

1985~2024 年表

1985
昭和60年

消防庁舎完成

菰野町消防本部、消防署が発足し職員31名、車両5台で業務を開始



1986
昭和61年

■2月11日 静岡県熱川温泉火災 死者24名

1987
昭和62年

■6月6日 東京都老人ホーム（松寿園）火災 死者17名

はしご車（30m）配備

（社）日本損害保険協会より救助工作車寄贈



菰野町防火協会設立に伴い火災予防活動に一役



1990
平成2年

■3月18日 長崎屋尼崎店火災 死者15名

□菰野町 秋雨前線による集中豪雨及び台風19号

9月17日～9月19日：総雨量192mm、最大風速36.3m

被害状況：負傷者なし、床下浸水等3棟、河川等損壊15箇所

全国消防操法大会に朝上分団が出場

三重県消防操法大会にて優勝、全国消防操法大会に出場し優良賞を獲得



1991
平成3年

■6月3日 雲仙普賢岳火砕流災害 死者43名

□菰野町 集中豪雨

8月11日 19時00分～22時00分：3時間雨量135mm

被害状況：負傷者なし、床上浸水等74戸、河川等損壊95箇所

■10月16日 富士石油袖ヶ浦製油所爆発火災 死者10名

1993
平成5年

■7月12日 北海道南西沖地震「奥尻島地震・津波」

三重県防災ヘリコプター運行開始に伴う合同訓練

三重県防災ヘリコプターと応援協定が締結され、山岳救助活動を主とした連携訓練を実施



全国婦人消防操法大会に菰野町婦人消防隊が出場

菰野町の婦人消防隊が三重県を代表し、全国婦人消防操法大会に出場



1994
平成6年

普通救命講習会開始

応急手当の普及、救命率の向上を目的に普通救命講習会を開始



全国消防操法大会に菰野分団が出場

三重県消防操法大会にて優勝、全国消防操法大会に出場し敢闘賞を獲得



1995
平成7年

■1月17日 兵庫県南部地震「阪神・淡路大震災」 阪神・淡路大震災応援出動

1月17日早朝に発生したこの地震は兵庫県を中心に大きな被害があり、当町は翌18日から神戸市に人命救助、消火活動のため6名を派遣



災害発生状況(長田区若松町付近)



消火活動状況(中央区)
当町消防隊員も応援隊として活動中

■3月20日 地下鉄サリン事件

訓練塔竣工

火災、救助等様々な想定の実訓練を行うため、4階建鉄筋コンクリート造の訓練塔を竣工



菰野町 強い冬型の気圧配置（クリスマス寒波）

12月24日～12月26日：積雪60cm～70cm、御在所岳山上200cm
被害状況：雪の影響によると思われる交通事故等による負傷者7名
カーポート等が雪の重さで破損94件

(社) 日本損害保険協会より高規格救急車寄贈

1996
平成8年



1997
平成9年

菰野町消防団に特別表彰「まとい」を受章

菰野町消防団はこれまでの災害活動、訓練実績が評価され、第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章



1998
平成10年

□菰野町 台風7号（伊勢湾台風以来の「風」台風）

9月22日：最大瞬間風速42m/s

被害状況：負傷者2名、被害住宅等4197件

救急救命士による救急業務開始

救急救命士の資格を取得した職員が平成10年4月1日より救急車に乗車し、高度な救命処置を開始



2001
平成13年

通信指令室更新

当時、発信地表示システム等の最新システムの導入により現場特定時間の短縮、また機械化されることで業務の効率化を図る。



■5月5日 千葉県四街道市作業員宿舎火災 死者11名

■9月1日 新宿歌舞伎町雑居ビル火災 死者44名

2003
平成15年

■4月11日 鹿児島市花火工場爆発火災 死者10名

■9月26日 十勝沖地震（ナフサ貯蔵タンク火災）

2004
平成16年

□菰野町 台風18号

9月5日 17時00分～20時00分：3時間雨量335mm（湯の山）

被害状況：負傷者なし、旅館等に土砂流入4件、床下浸水10箇所、土砂崩れ13箇所

■10月23日 新潟県中越地震

菰野町での緊急消防援助隊合同訓練

消防本部庁舎前において三重県下消防本部が集結し野営訓練を実施



2006
平成18年

住宅用火災警報器の設置義務化

菰野町火災予防条例の一部改正が行われ、住宅用火災警報器の設置が義務化



2008
平成20年

救助工作車更新



■6月24日 岩手・宮城内陸地震

□菰野町 集中豪雨

9月2日 13時00分～14時00分：1時間雨量126mm（朝明キャンプ場）

被害状況：負傷者なし、住宅一部損壊4棟、道路被害17件



■10月1日 大阪個室ビデオ店放火火災 死者16名

■3月20日 群馬県老人ホーム火災（静養ホームたまゆら） 死者10名

2009
平成21年

2010
平成22年

□菰野町 集中豪雨

8月9日 6時00分～7時00分：1時間雨量90mm（県民の森）
被害状況：負傷者なし、床上浸水等24件、道路被害等14件

2011
平成23年

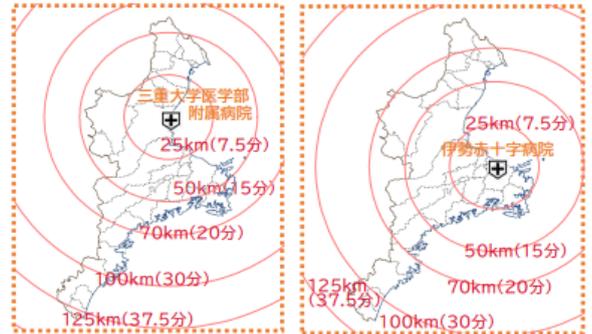
■3月11日 東北地方太平洋沖地震「東日本大震災」
東日本大震災緊急消防援助隊三重県隊として出動

平成23年3月11日大規模な地震により東北地方で大きな被害が発生し、当町から人命救助活動のため県内各消防本部と合同で千葉県及び宮城県へ救急隊6名を派遣



2012
平成24年

三重県ドクターヘリ運航開始



2013
平成25年

■10月11日 福岡市整形外科医院火災 死者10名

2014
平成26年

はしご車（30m）更新



■8月20日 平成26年8月豪雨による広島市土砂災害

■9月27日 御嶽山噴火災害

全国消防操法大会に朝上分団が出場

三重県消防操法大会にて優勝、全国消防操法大会に出場し敢闘賞を獲得



ポンプ車更新



2015
平成27年

救命サポート事業所認定制度開始

認定事業所周辺で発生した呼吸や心臓が止まった傷病者に対して、早期にAEDを使用した心肺蘇生法を開始することで救命率の向上を図ることを目的とした救命サポート事業所認定制度を開始



菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）

菰野町消防本部、消防署職員46名、車両10台にて消防業務を対応



■5月17日 川崎市簡易宿泊所火災 死者11名

■9月10日 平成27年9月関東・東北豪雨

消防支援隊発足

災害発生時に町民の被害を軽減し、安全な町民生活を確保するため、消防職員を退職した方、消防団を退団した方の知識と経験を生かして、消防本部・消防署が行う消防活動を支援することを目的とした消防支援隊を発足



三重北消防指令センター共同運用開始

消防通信指令事務（119番通報受付、消防車や救急車の出動指令、消防無線統制等）を菰野町消防本部、四日市市消防本部並びに桑名市消防本部の3消防において三重北消防指令センターとして共同運用を開始



■4月14日 熊本地震

G7伊勢志摩サミット消防特別警戒に派遣

5月26日、27日にG7伊勢志摩サミットが開催され、警戒部隊救急隊として派遣し、2交代24時間体制で警戒活動を実施



■8月31日 平成28年台風10号による災害

2016
平成28年

2017
平成29年

- 12月22日 糸魚川市大規模火災
- 2月16日 アスクル基幹物流センター火災
- 7月5日 九州北部豪雨

2018
平成30年

- 1月31日 札幌市自立支援住宅（そしあるハイム）火災 死者11名

合同山岳救助訓練

平成30年度全国高等学校総合体育大会登山大会の地元開催に備え、関係機関との合同山岳救助訓練を実施



- 6月28日 平成30年7月豪雨「西日本豪雨」
西日本豪雨緊急消防援助隊三重県隊として出動

西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、消防庁長官から出動の指示を受ける。



- 9月6日 北海道胆振東部地震

三重県内高速道路消防連絡協議会総合訓練

新名神高速自動車国道開通に備えた三重県内高速道路消防連絡協議会総合訓練を実施



2019
平成31年
令和元年

3月17日 新名神高速道路（菰野IC）開通



■7月18日 京都アニメーション放火殺人事件 死者36名

□菰野町 集中豪雨 「レベル5災害発生情報」発令

9月6日 0時00分～1時00分：1時間雨量111mm（切畑配水池）

被害状況：負傷者なし、床上浸水6件、道路被害等9件

■10月13日 令和元年東日本台風

Net119緊急通報システム運用開始

三重北消防指令センターにおいて、聞くことや話すことに不安がある方を対象に、携帯電話やスマートフォンのインターネットを利用して119番通報が出来るNet119緊急通報システム運用を開始



2020
令和2年

新型コロナウイルス感染症世界的な大流行

■7月3日 令和2年7月豪雨（熊本・長野）

小型動力ポンプ付水槽車配備



消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章

消防団活動の功労や功績に対し、消防功労者消防庁長官表彰にて竿頭綬を受章



2021
令和3年

ドローン運用開始

カメラ機能やサーモグラフィー装置を利用し、災害事案で上空からの様々な情報を得ることを目的にドローンを配備



患者等搬送事業認定制度開始

救急車を呼ぶほど「緊急性がない」場合の通院等への送迎に際し、ストレッチャーや車椅子で移動が必要な場合、菰野町内に所在する患者等搬送業務を行う事業者のうち、一定の基準に適合した事業者に対して認定する患者等搬送事業認定制度を開始



119番映像通報システム運用開始

三重北消防指令センターにおいて、スマートフォンを活用して音声に加えて災害現場や傷病者の状況を映像で119番通報することができる119番映像通報システム運用を開始



■12月17日 北新地ビル放火殺人事件 死者27名

水槽付ポンプ車更新



2022
令和4年

菰野町民総ぐるみ総合防災訓練実施

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行後、4年ぶりの菰野町民総ぐるみ総合防災訓練を実施



2023
令和5年

■1月1日 令和6年能登半島地震

令和6年能登半島地震緊急消防援助隊三重県隊として出動

令和6年1月1日大規模な地震により能登半島で大きな被害が発生し、当町から後方支援のため県内各消防本部と合同で輪島市へ延べ12名を派遣



高規格救急車更新

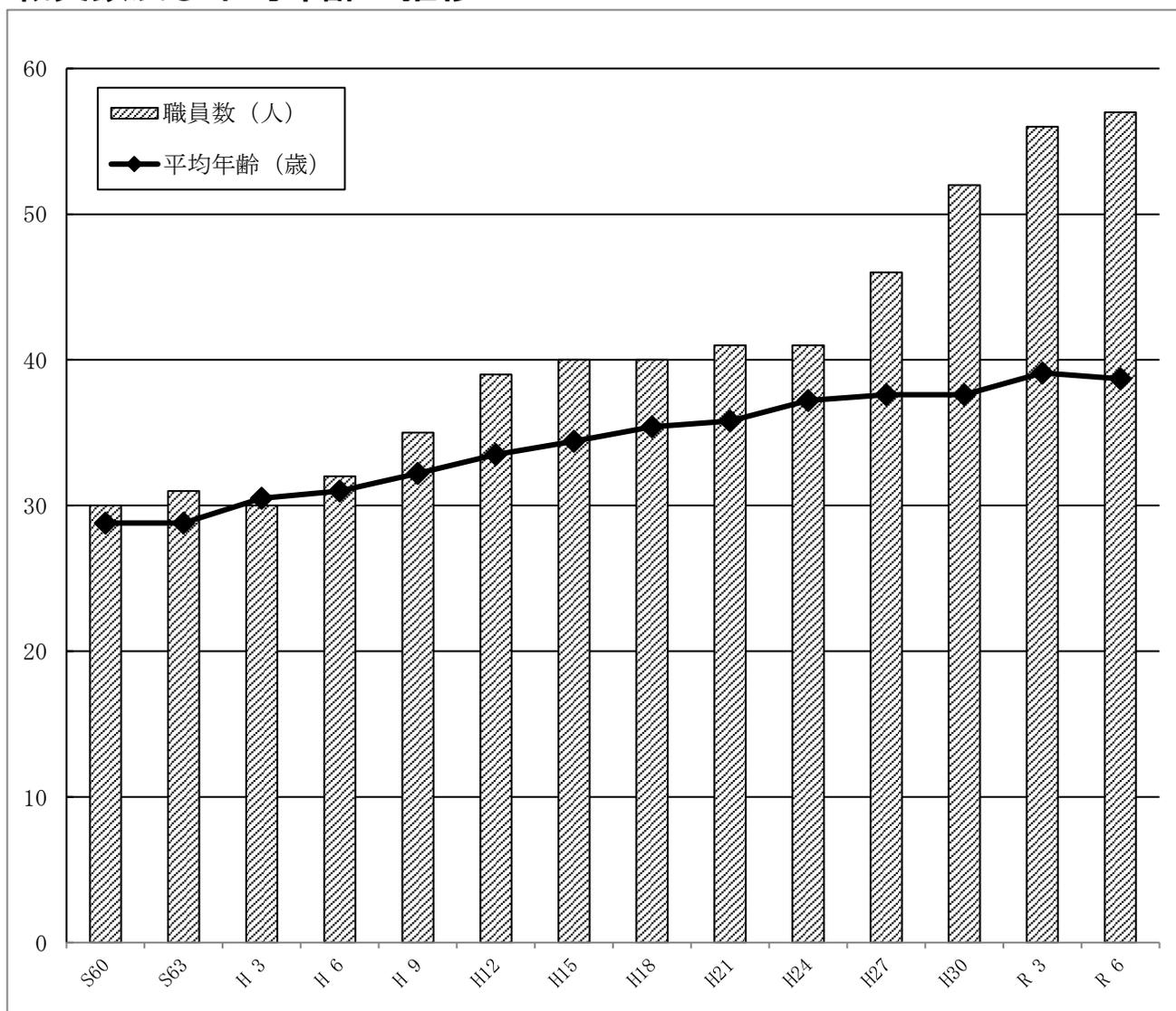


救急情報伝送システム運用開始

救急隊が傷病者を観察した情報や外傷等の身体所見を搬送先医療機関に映像で伝送する救急情報伝送システム運用を開始



職員数及び平均年齢の推移



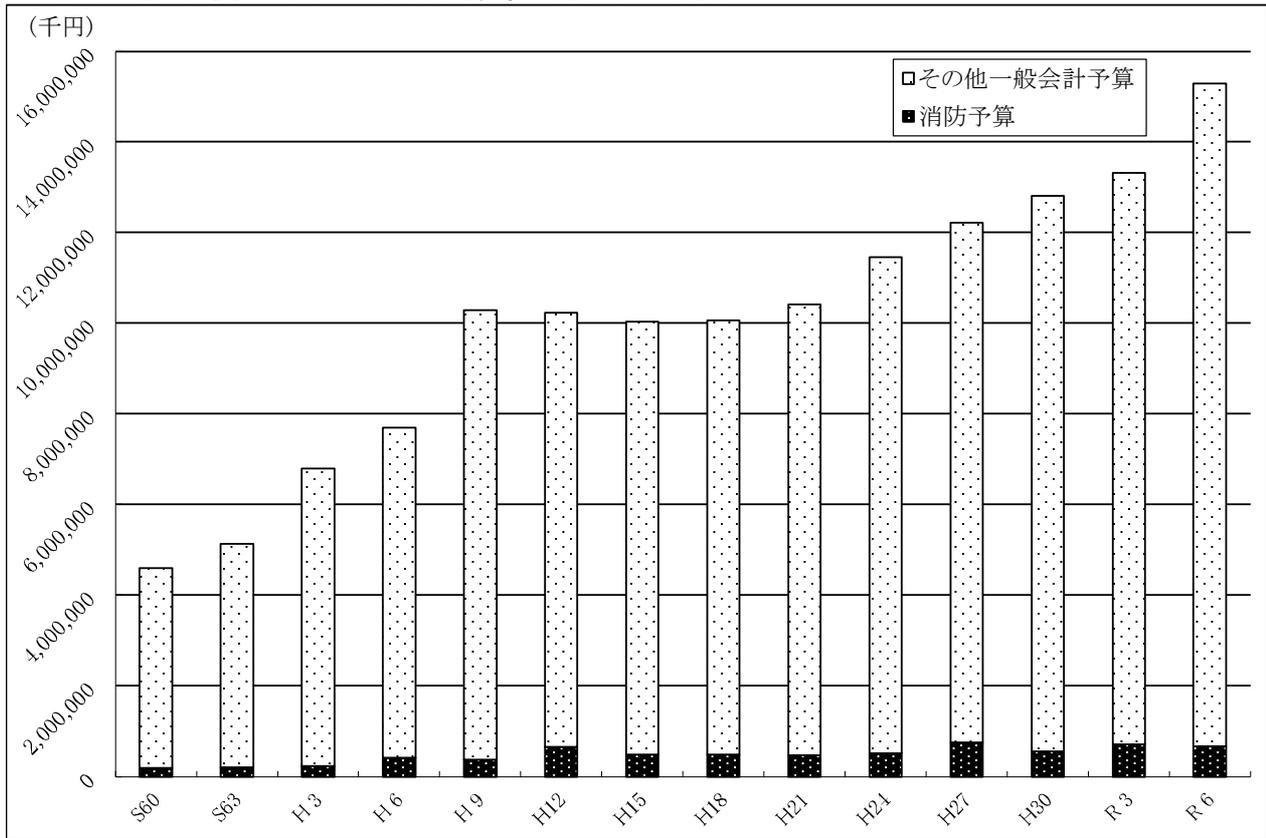
区分 \ 年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
職員数(人)	30	30	31	31	31	30	30	30	30	32
平均年齢(歳)	28.8	28.3	28.4	28.8	29.6	29.9	30.5	30.9	31.6	31

区分 \ 年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
職員数(人)	32	33	35	37	39	39	40	40	40	40
平均年齢(歳)	31.1	32.1	32.2	32.6	32.7	33.5	33.4	33.9	34.4	34.4

区分 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
職員数(人)	40	40	40	40	41	41	41	41	43	44
平均年齢(歳)	35.4	35.4	35.7	36.2	35.8	36.2	36.2	37.2	36.4	36.1

区分 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
職員数(人)	46	49	51	52	52	56	56	57	56	57
平均年齢(歳)	37.6	37.8	38.2	37.6	38.6	39.5	39.1	38.8	38.1	38.7

一般会計予算に占める消防費の割合の推移



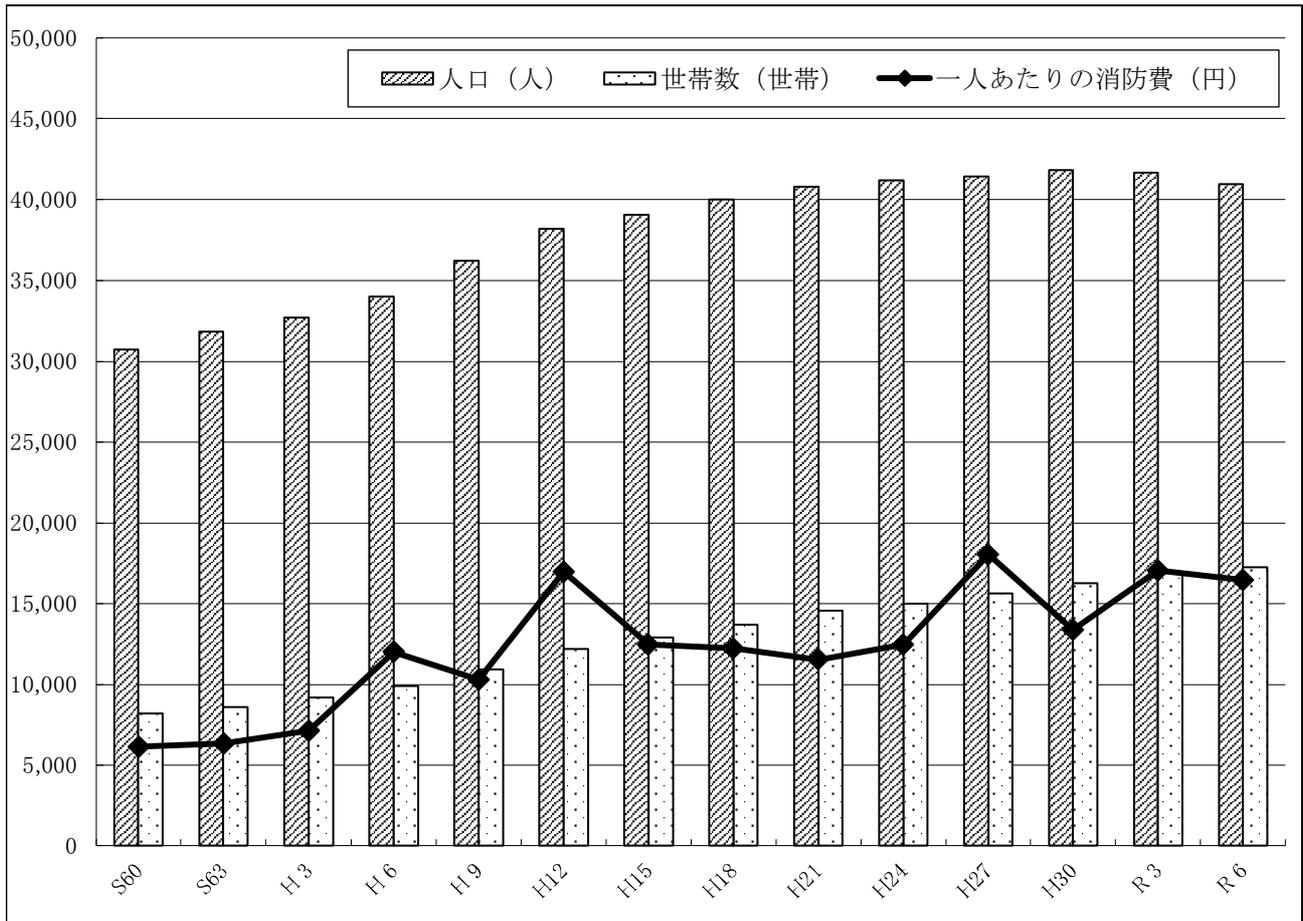
区分 \ 年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
一般会計 予算(千円)	4,600,000	5,115,000	4,693,000	5,136,000	5,746,000	6,731,000	6,789,000	7,041,000	7,665,000	7,700,000
消防予算 (千円)	188,804	273,378	187,630	202,019	208,310	225,027	233,430	258,841	295,969	408,634
消防予算の 比率(%)	4.10%	5.34%	4.00%	3.93%	3.63%	3.34%	3.44%	3.68%	3.86%	5.31%

区分 \ 年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
一般会計 予算(千円)	8,080,000	8,619,000	10,280,000	12,550,000	9,200,000	10,230,000	12,800,000	9,600,000	10,030,000	10,850,000
消防予算 (千円)	333,362	321,098	373,523	377,508	373,343	648,950	431,349	435,551	486,794	450,158
消防予算の 比率(%)	4.13%	3.73%	3.63%	3.01%	4.06%	6.34%	3.37%	4.54%	4.85%	4.15%

区分 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計 予算(千円)	10,510,000	10,060,000	9,900,000	10,440,000	10,412,000	11,770,000	10,850,000	11,450,000	11,100,000	11,344,000
消防予算 (千円)	468,789	489,395	432,196	465,906	470,975	543,077	465,252	513,698	630,884	557,267
消防予算の 比率(%)	4.46%	4.86%	4.37%	4.46%	4.52%	4.61%	4.29%	4.49%	5.68%	4.91%

区分 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
一般会計 予算(千円)	12,210,000	13,860,000	13,220,000	12,810,000	12,870,000	13,460,000	13,310,000	13,300,000	13,660,000	15,280,000
消防予算 (千円)	747,012	557,905	592,547	559,353	627,976	654,659	710,572	655,536	662,691	674,140
消防予算の 比率(%)	6.12%	4.03%	4.48%	4.37%	4.88%	4.86%	5.34%	4.93%	4.85%	4.41%

管内人口の推移



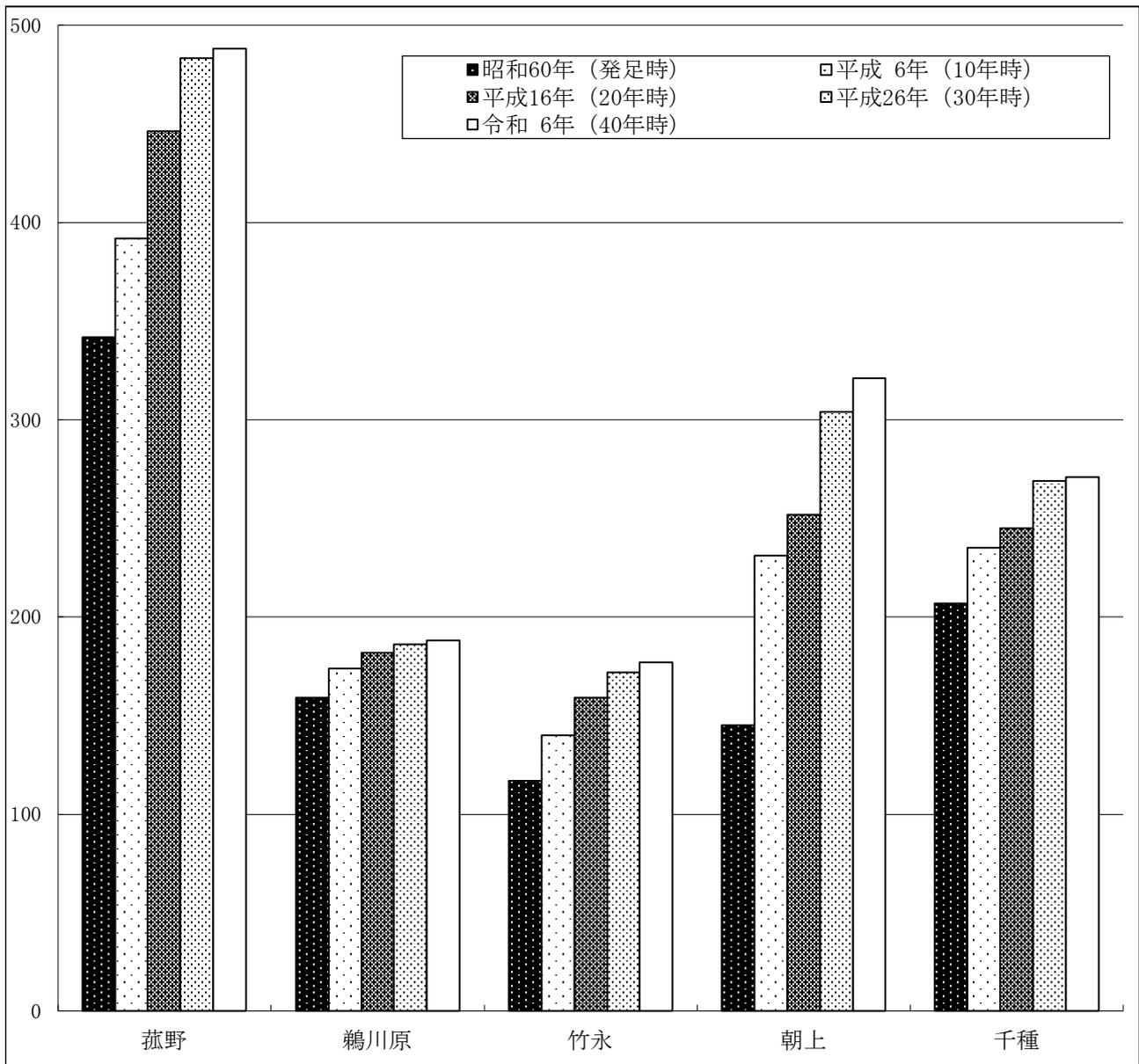
区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
人口(人)	30,760	31,099	31,546	31,863	32,218	32,443	32,709	33,184	33,546	34,015
世帯数(世帯)	8,205	8,340	8,467	8,628	8,847	8,996	9,221	9,472	9,659	9,924
一人あたりの消防費(円)	6,138	8,791	5,948	6,340	6,466	6,936	7,137	7,800	8,823	12,013

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
人口(人)	34,769	35,547	36,239	37,402	37,785	38,229	38,713	38,939	39,047	39,155
世帯数(世帯)	10,221	10,546	10,942	11,682	11,911	12,210	12,493	12,698	12,909	13,066
一人あたりの消防費(円)	9,588	9,033	10,307	10,093	9,881	16,975	11,142	11,185	12,467	11,497

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人口(人)	39,494	39,989	40,274	40,550	40,784	40,977	41,025	41,171	41,311	41,329
世帯数(世帯)	13,328	13,721	14,066	14,350	14,565	14,731	14,803	15,014	15,237	15,387
一人あたりの消防費(円)	11,870	12,238	10,731	11,490	11,548	13,253	11,341	12,477	15,272	13,484

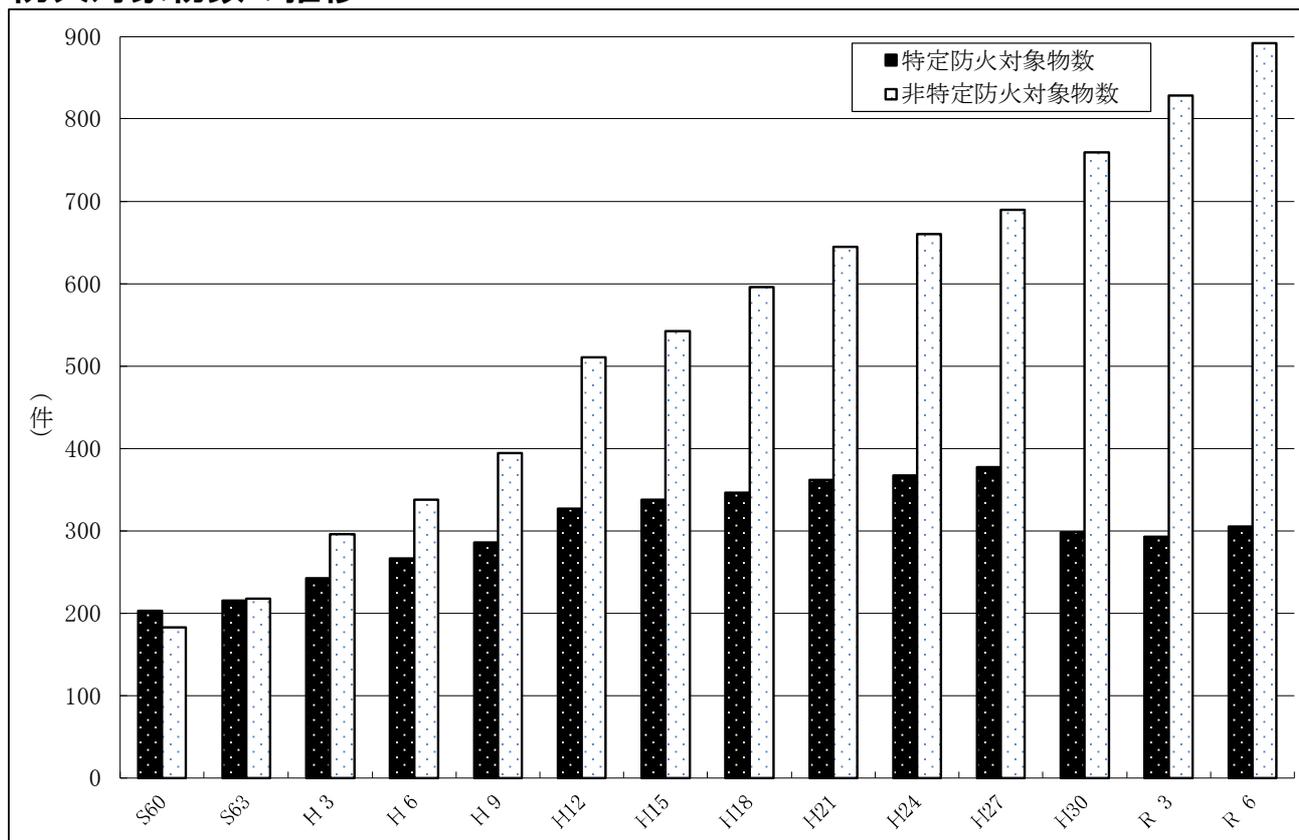
区分 \ 年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
人口(人)	41,419	41,540	41,803	41,820	41,738	41,610	41,670	41,390	41,189	40,931
世帯数(世帯)	15,636	15,828	16,089	16,284	16,461	16,666	16,903	16,964	17,126	17,281
一人あたりの消防費(円)	18,035	13,431	14,175	13,375	15,046	15,733	17,052	15,838	16,089	16,470

消火栓数の推移



年	地区					
	菰野	鶴川原	竹永	朝上	千種	合計
昭和60年(発足時)	342	159	117	145	207	970
平成6年(10年時)	392	174	140	231	235	1,172
平成16年(20年時)	446	182	159	252	245	1,284
平成26年(30年時)	483	186	172	304	269	1,414
令和6年(40年時)	488	188	177	321	271	1,445

防火対象物数の推移



年度 区分	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
特定防火対象物数	203	209	216	216	224	234	243	248	258	267
非特定防火対象物数	183	186	193	218	243	262	296	310	322	338
合計	386	395	409	434	467	496	539	558	580	605

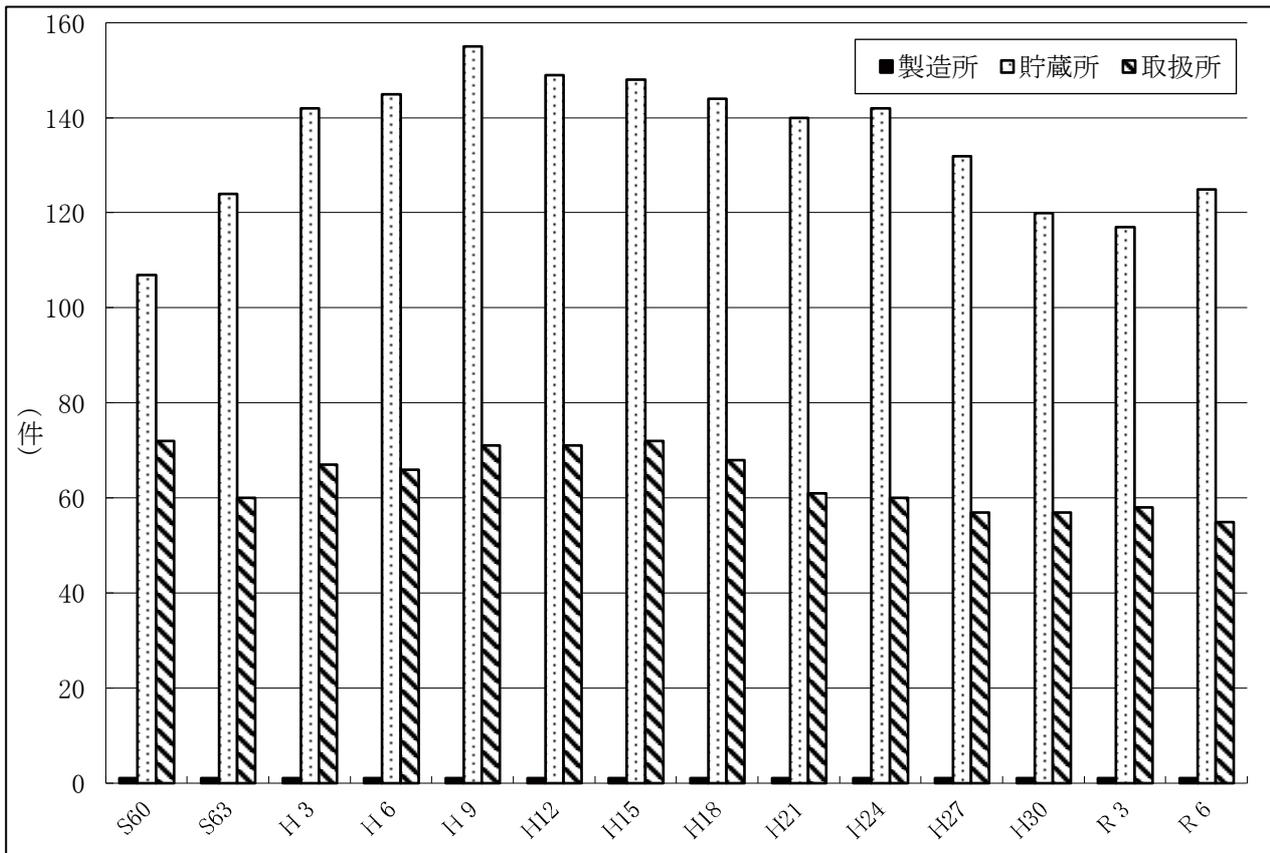
年度 区分	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
特定防火対象物数	271	277	286	304	315	327	329	335	338	337
非特定防火対象物数	357	368	395	438	488	511	523	531	543	562
合計	628	645	681	742	803	838	852	866	881	899

年度 区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
特定防火対象物数	343	347	355	364	362	361	362	368	370	376
非特定防火対象物数	580	596	623	638	645	650	651	661	669	680
合計	923	943	978	1,002	1,007	1,011	1,013	1,029	1,039	1,056

年度 区分	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
特定防火対象物数	378	380	376	299	289	290	293	288	301	306
非特定防火対象物数	690	697	714	759	783	817	828	837	872	892
合計	1,068	1,077	1,090	1,058	1,072	1,107	1,121	1,125	1,173	1,198

※特定防火対象物＝集会場、飲食店、物品販売店、ホテル、病院、福祉施設など
 非特定防火対象物＝共同住宅、図書館、学校、工場、倉庫、事務所など

危険物施設数の推移



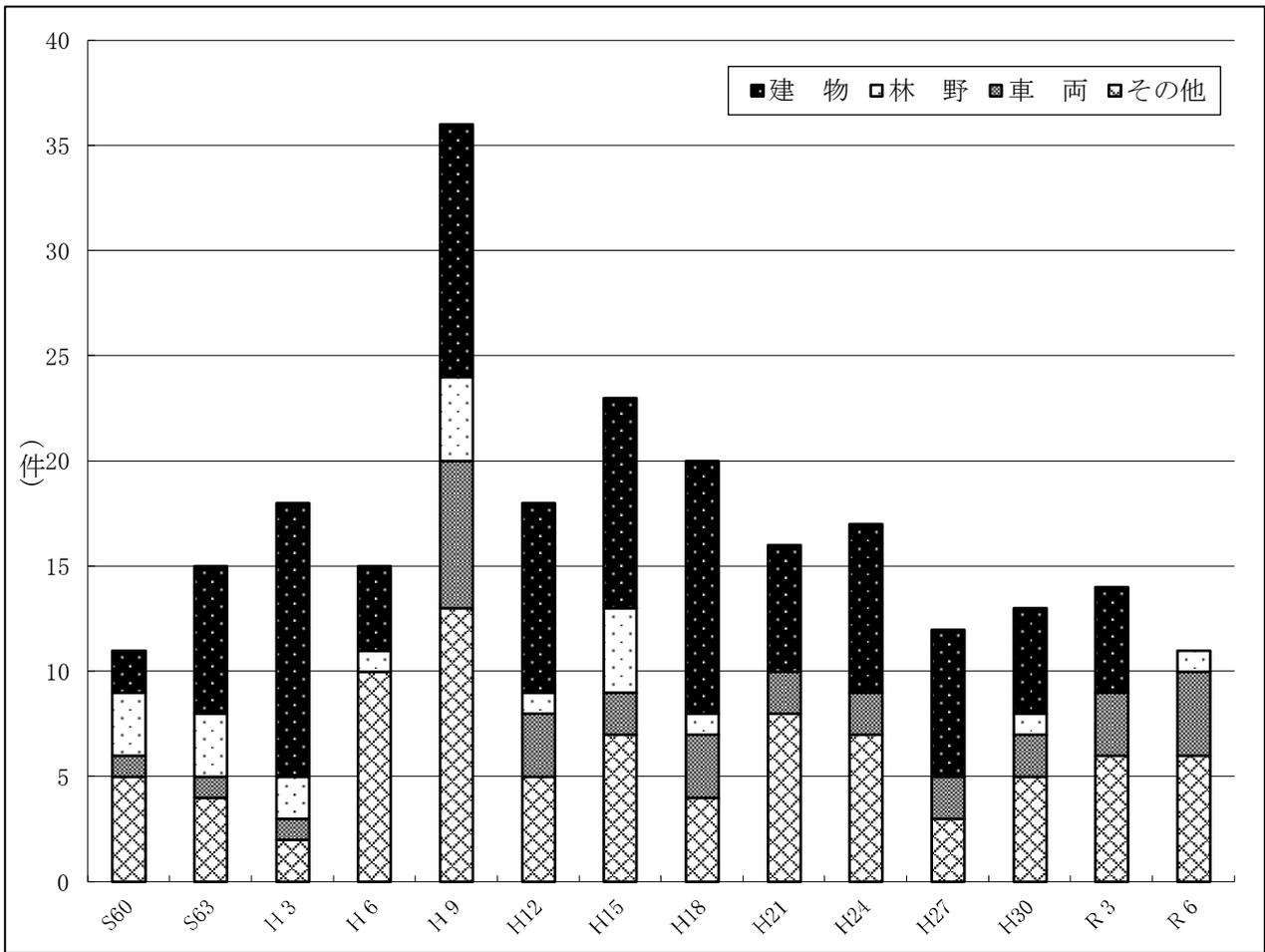
区分 \ 年度	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	107	111	114	124	138	143	142	141	143	145
取扱所	72	74	55	60	63	66	67	65	65	66
合計	180	186	170	185	202	210	210	207	209	212

区分 \ 年度	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	145	145	155	153	150	149	146	149	148	145
取扱所	69	69	71	70	69	71	72	74	72	74
合計	215	215	227	224	220	221	219	224	221	220

区分 \ 年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	147	144	143	144	140	141	145	142	143	135
取扱所	71	68	66	62	61	59	60	60	60	57
合計	219	213	210	207	202	201	206	203	204	193

区分 \ 年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
製造所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
貯蔵所	132	129	121	120	115	119	117	117	119	125
取扱所	57	57	58	57	55	55	58	57	56	55
合計	190	187	180	178	171	175	176	175	176	181

火災(種別)件数の推移



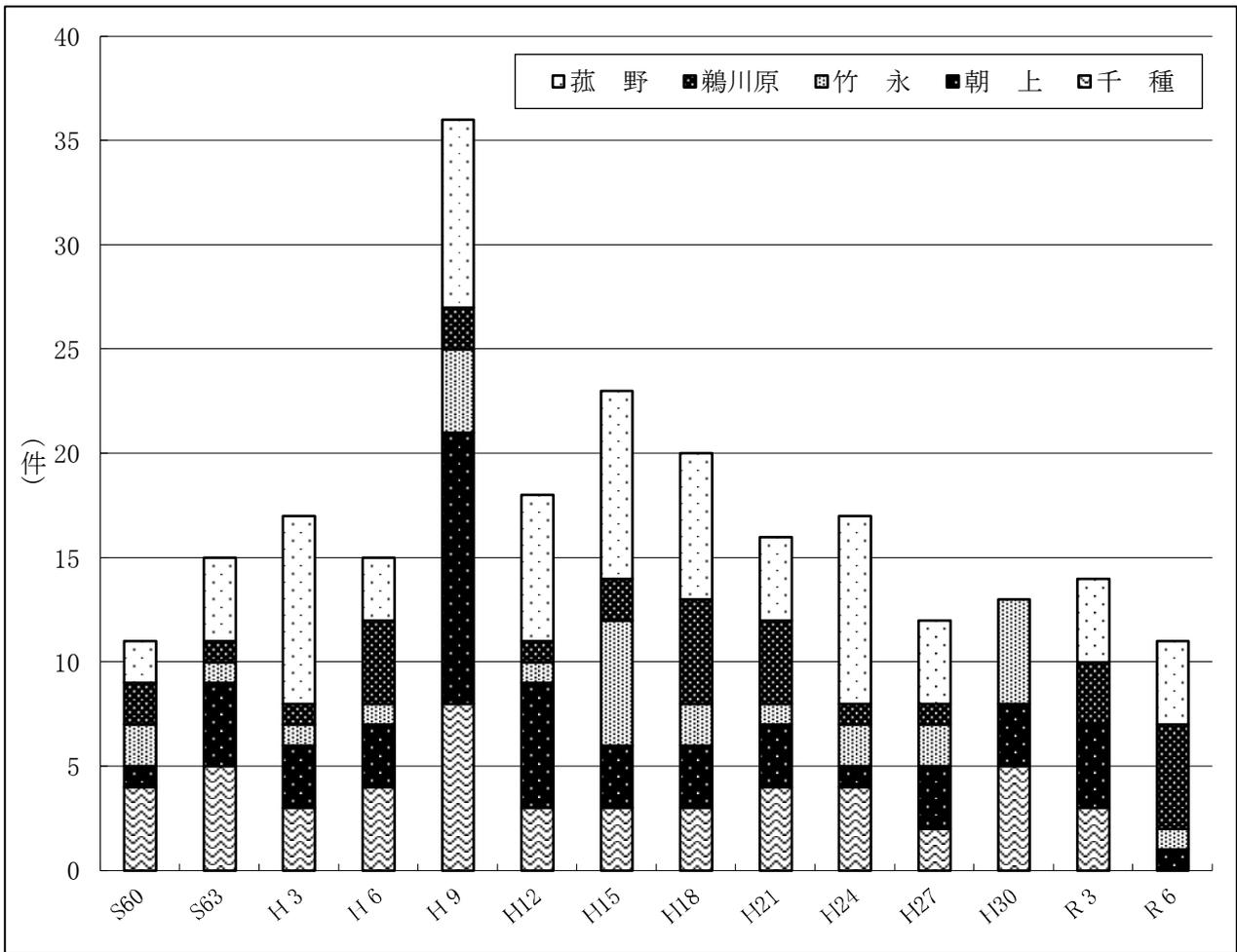
区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
建物	2	8	10	7	8	6	13	11	5	4
林野	3	3	3	3	1	0	2	0	0	1
車両	1	3	0	1	2	1	1	1	1	0
その他	5	9	2	4	2	2	2	1	0	10
合計	11	23	15	15	13	9	17	13	6	15

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
建物	7	9	12	8	14	9	12	5	10	4
林野	4	7	4	4	4	1	5	5	4	1
車両	2	1	7	2	1	3	2	1	2	2
その他	10	13	13	4	2	5	6	10	7	5
合計	23	30	36	18	21	18	25	21	23	12

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
建物	9	12	11	11	6	3	3	8	13	3
林野	3	1	3	1	0	2	1	0	1	2
車両	4	3	0	2	2	1	1	2	1	1
その他	7	4	7	5	8	9	4	7	7	13
合計	23	20	21	19	16	15	9	17	22	19

区分 \ 年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
建物	7	6	7	5	5	4	5	4	6	0
林野	0	3	1	1	0	2	0	2	3	1
車両	2	1	3	2	1	3	3	1	1	4
その他	3	4	9	5	2	1	6	6	5	6
合計	12	14	20	13	8	10	14	13	15	11

火災(地区別)件数の推移



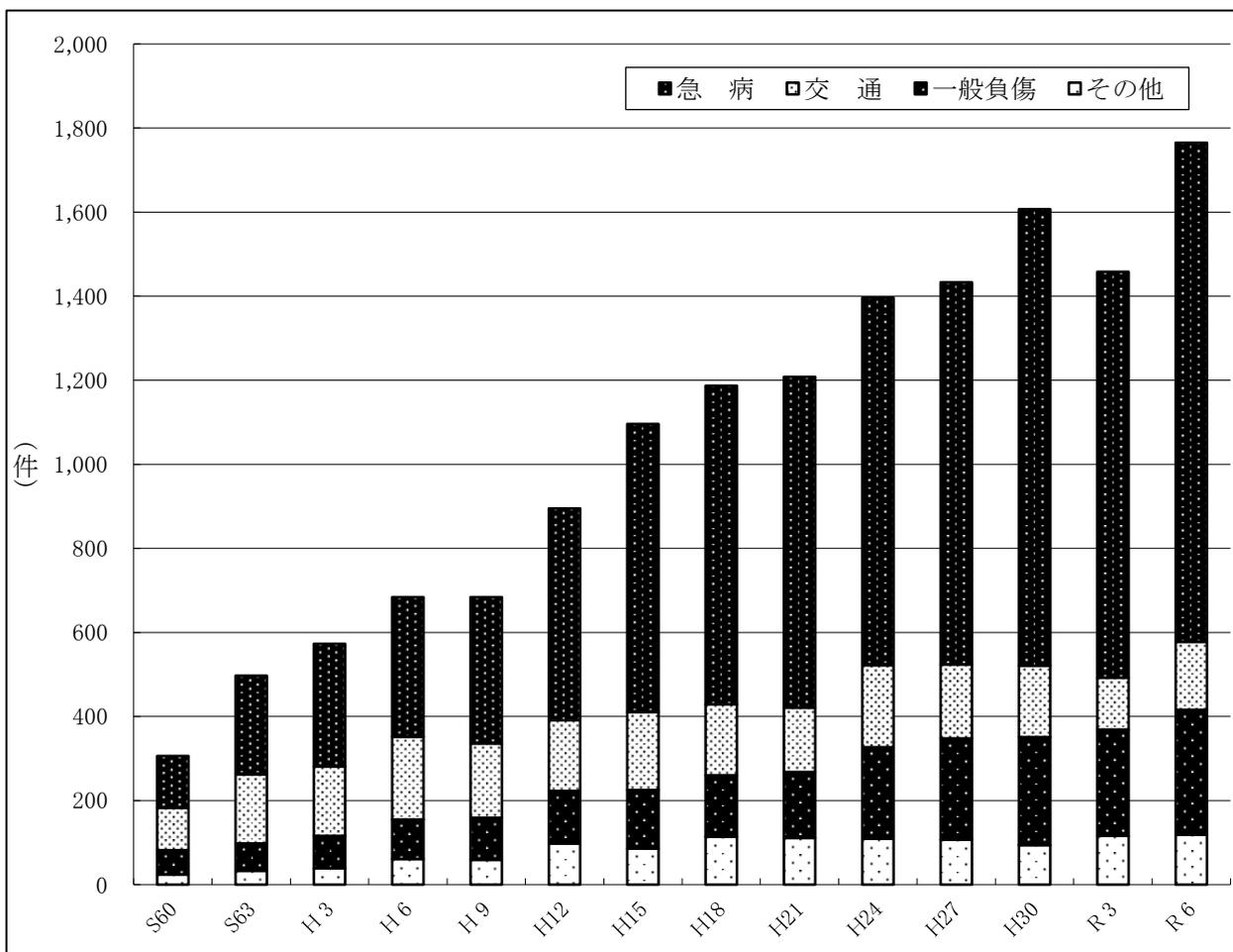
区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
菰野	2	7	3	4	5	3	9	8	4	3
鷺川原	2	1	3	1	1	2	1	1	0	4
竹永	2	1	4	1	2	1	1	0	1	1
朝上	1	7	2	4	2	1	3	1	1	3
千種	4	7	3	5	3	2	3	3	0	4
合計	11	23	15	15	13	9	17	13	6	15

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
菰野	6	3	9	4	12	7	7	5	9	6
鷺川原	3	3	2	2	3	1	2	3	2	2
竹永	3	2	4	4	1	1	1	2	6	0
朝上	4	13	13	5	2	6	7	4	3	1
千種	7	9	8	3	3	3	8	7	3	3
合計	23	30	36	18	21	18	25	21	23	12

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
菰野	9	7	4	4	4	6	2	9	9	6
鷺川原	2	5	3	4	4	0	1	1	3	2
竹永	2	2	1	3	1	5	0	2	2	2
朝上	4	3	7	4	3	3	5	1	6	2
千種	6	3	6	4	4	1	1	4	2	7
合計	23	20	21	19	16	15	9	17	22	19

区分 \ 年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
菰野	4	1	5	0	4	4	4	3	4	4
鷺川原	1	2	5	0	0	3	3	1	3	5
竹永	2	2	2	5	1	1	0	3	1	1
朝上	3	5	4	3	1	1	4	2	2	1
千種	2	4	4	5	2	1	3	4	5	0
合計	12	14	20	13	8	10	14	13	15	11

救急出動件数の推移



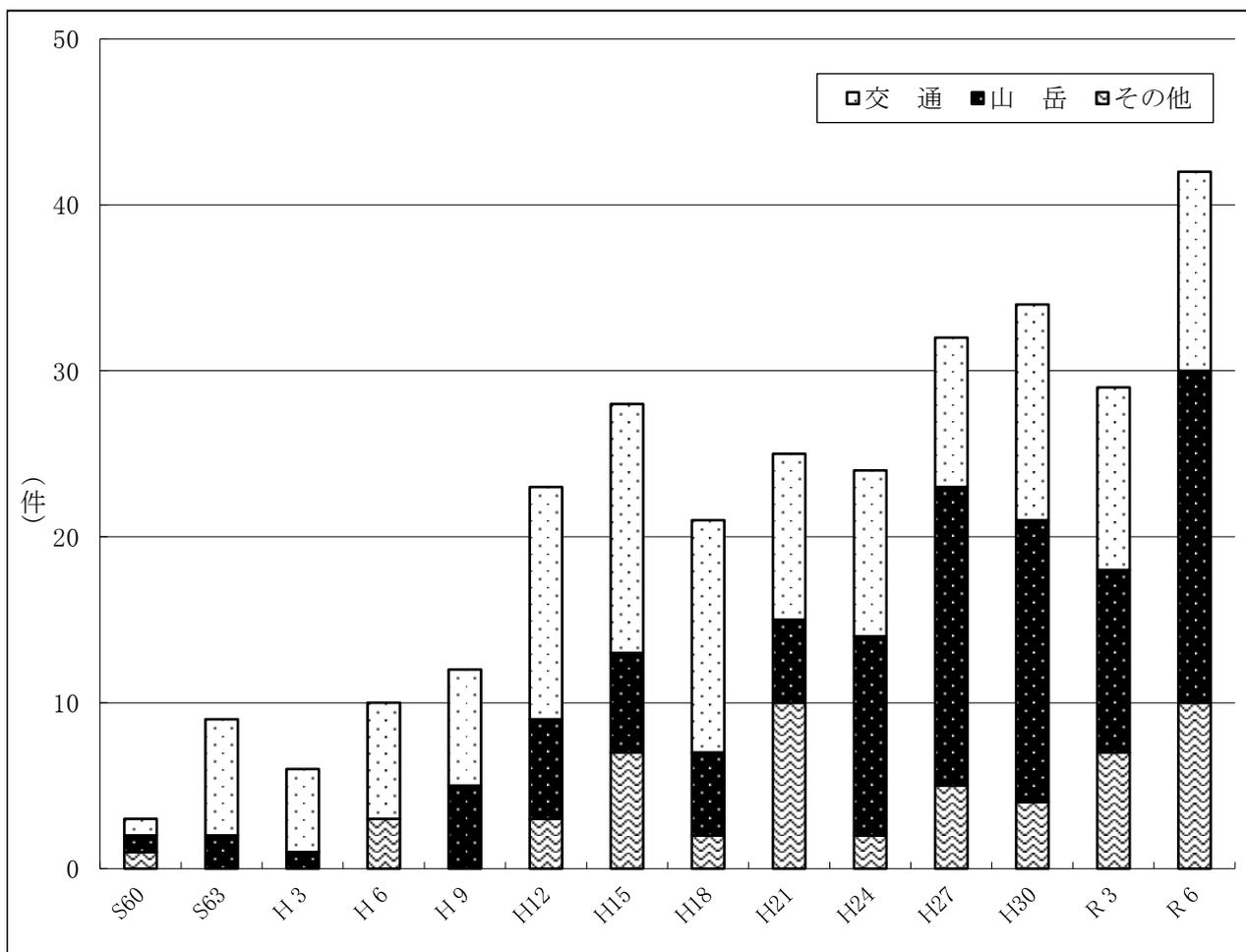
区分年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
急病	123	208	201	235	275	263	292	245	324	332
交通	101	139	123	164	188	203	165	168	173	197
一般負傷	58	56	68	65	71	72	77	86	88	94
その他	24	39	42	33	35	57	39	59	56	61
合計	308	442	434	497	569	595	573	558	641	684

区分年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
急病	376	410	348	403	394	504	565	612	685	665
交通	168	190	177	146	167	168	183	188	186	184
一般負傷	97	104	100	78	104	125	134	138	139	156
その他	53	75	59	78	81	98	113	80	86	86
合計	694	779	684	705	746	895	995	1,018	1,096	1,091

区分年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
急病	708	758	799	777	787	800	903	874	957	915
交通	190	169	160	201	153	153	156	195	173	212
一般負傷	179	146	181	179	157	188	208	218	216	214
その他	118	114	108	109	111	101	93	109	127	110
合計	1,195	1,187	1,248	1,266	1,208	1,242	1,360	1,396	1,473	1,451

区分年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
急病	909	958	977	1,086	1,063	868	966	1,230	1,258	1,187
交通	176	167	156	170	158	122	123	162	124	162
一般負傷	241	233	231	257	265	253	253	279	270	297
その他	107	94	116	94	112	106	116	106	128	119
合計	1,433	1,452	1,480	1,607	1,598	1,349	1,458	1,777	1,780	1,765

救助出動件数の推移



区分 \ 年	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6
交通	1	3	5	7	8	5	5	5	7	7
山岳	1	0	1	2	2	0	1	0	1	0
その他	1	0	1	0	2	1	0	3	2	3
合計	3	3	7	9	12	6	6	8	10	10

区分 \ 年	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
交通	8	7	7	10	13	14	13	5	15	18
山岳	2	4	5	7	2	6	6	1	6	4
その他	7	0	0	2	1	3	0	3	7	7
合計	17	11	12	19	16	23	19	9	28	29

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
交通	15	14	6	12	10	11	8	10	3	3
山岳	8	5	10	6	5	12	7	12	12	11
その他	10	2	5	5	10	9	7	2	2	5
合計	33	21	21	23	25	32	22	24	17	19

区分 \ 年	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
交通	9	13	9	13	8	13	11	16	10	12
山岳	18	20	24	17	16	16	11	24	14	20
その他	5	3	6	4	7	7	7	10	10	10
合計	32	36	39	34	31	36	29	50	34	42

災害件数の推移

年	区分	火災 (件)	救急 (件)	救助 (件)	人口 (人)
昭和 60 年		11	308	3	31,099
昭和 61 年		23	442	3	31,546
昭和 62 年		15	434	7	31,949
昭和 63 年		15	497	9	32,218
平成 元年		13	569	12	32,443
平成 2 年		9	595	6	32,942
平成 3 年		17	573	6	33,504
平成 4 年		13	558	8	33,902
平成 5 年		6	641	10	34,362
平成 6 年		15	684	10	35,137
平成 7 年		23	694	17	36,036
平成 8 年		30	779	11	36,801
平成 9 年		36	684	12	37,402
平成 10 年		18	705	19	37,785
平成 11 年		21	746	16	38,229
平成 12 年		18	895	23	38,713
平成 13 年		25	995	19	38,939
平成 14 年		21	1,018	9	39,074
平成 15 年		23	1,096	28	39,155
平成 16 年		12	1,091	29	39,494
平成 17 年		23	1,195	33	39,989
平成 18 年		20	1,187	21	40,274
平成 19 年		21	1,248	21	40,550
平成 20 年		19	1,266	23	40,784
平成 21 年		16	1,208	25	40,977
平成 22 年		15	1,242	32	41,025
平成 23 年		9	1,360	22	41,171
平成 24 年		17	1,396	24	41,311
平成 25 年		22	1,473	17	41,329
平成 26 年		19	1,451	19	41,419
平成 27 年		12	1,433	32	41,540
平成 28 年		14	1,452	36	41,803
平成 29 年		20	1,480	39	41,820
平成 30 年		13	1,607	34	41,738
令和 元年		8	1,598	31	41,610
令和 2 年		10	1,349	36	41,670
令和 3 年		14	1,458	29	41,390
令和 4 年		13	1,777	50	41,189
令和 5 年		15	1,780	34	40,931
令和 6 年		11	1,765	42	40,657

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値